

# 漁海況情報

沖縄県水産海洋研究センター

901-0305 沖縄県糸満市西崎1丁目3番1号  
電話 098-994-3593・3597  
FAX 098-995-2357

2010年(平成22年)6月 第451号  
最新情報：沖縄県水産海洋研究センターURL: <http://www.pref.okinawa.jp/fish/>  
海況案内人のページを参照してください。

携帯電話からのアクセスはこちらへ(QRコード)→

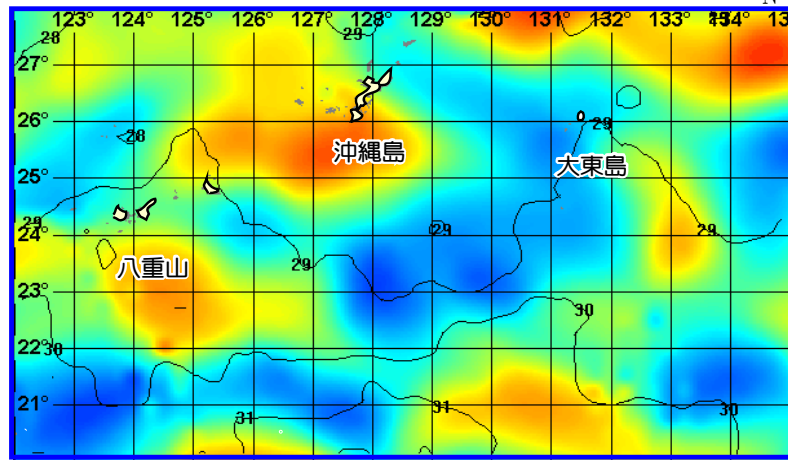


図1. 表面水温分布図(22年8月8日) 資料：東シナ海海況速報(漁業情報サビセンサー)

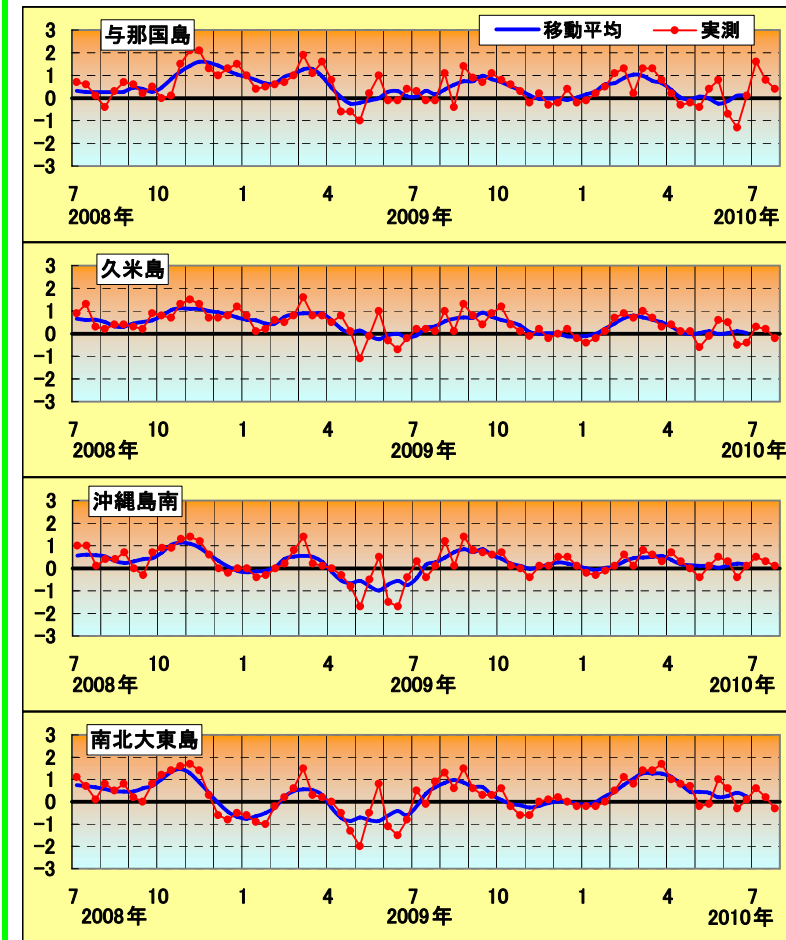
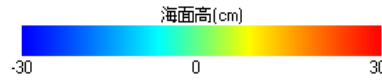


図2 沖縄近海における表面水温偏差(目盛りは旬)  
資料：西日本海況旬報(長崎海洋気象台)

表面水温と先月との差  
平成22年8月8日 現在

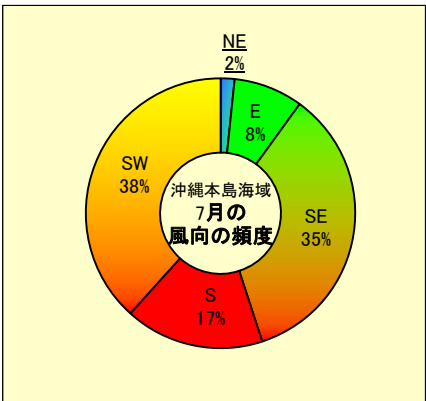
与那国・八重山	29~30℃	-1~2℃
宮古島	29~30℃	-1~2℃
久米島	28~29℃	0~2℃
沖縄島南	28~29℃	0~2℃
南北大東島	28~29℃	0~2℃

海況：8月の沖縄周辺海域の海面水温は本島周辺では平年並みからやや高めで推移する見込み。  
8月2-4日で行った図南丸による海洋観測では、黒潮は大陸棚に接近していた。また、喜屋武崎南方では、北緯25度30分、東経127度40分付近を中心とする高気圧性渦の影響で時計回りの潮流を観測している。  
一方、北緯23度、東経124度30分付近に比較的に強い勢力の高気圧性渦の影響で宮古島の南、石垣島の南東では東向けのやや強い流れが発生している模様。

参考資料  
海水温・海流1ヶ月予報  
：気象庁地球環境・海洋部7月30日発表  
西日本海区別海況情報  
：長崎海洋気象台8月8日発表

7月の表面水温年偏差

与那国	平年並み
久米島	平年並み
沖縄島南	平年並み
南北大東島	平年並み



那覇の風向風速予報：  
7月は、南向きの風が全体の90%を占めた。また、沖縄本島では風速9m以上の観測日は19日で風の強い日が多かった。(琉球新報天気欄より)

## 漁況

パヤオ漁業：沖縄島南部海域では、キハダ、伊良部では、キハダ、シビ、カツオ、の水揚げが多かった。

表1 6月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	南部計	伊良部	県内パヤオ総漁獲量
シイラ	2.4	1.8	1.4	1.1	6.8	3.5	14.5
カサギ	1.2	0.2	9.0	0.0	10.5	0.0	12.1
沖サワラ	0.3	0.1	0.4	0.5	1.3	0.3	3.6
カツオ	0.1	0.0	0.2	0.1	0.5	8.8	10.3
キハダ	27.7	13.5	16.7	7.5	65.5	12.5	111.9
シビ	1.6	1.6	2.3	4.4	9.9	10.1	24.2
メバチ	0.3	0.0	0.2	0.5	1.0	0.0	2.6
計	33.7	17.3	30.2	14.3	95.5	35.3	179.1

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

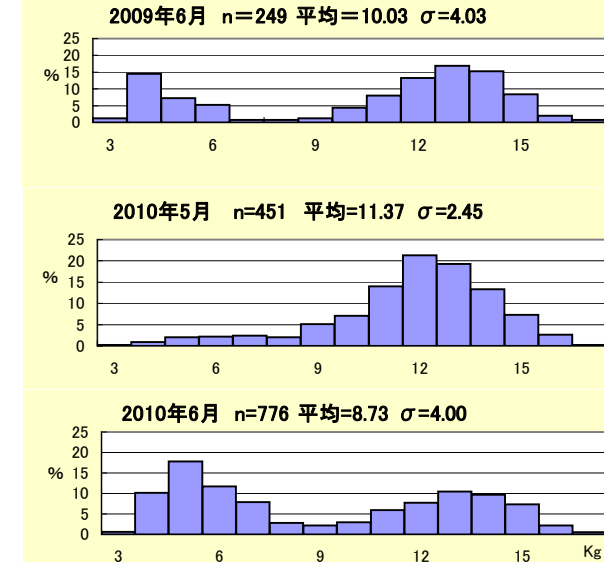


図4 糸満漁協のソデイカ重量(重抜き)の頻度分布  
nはデータ数：集計したソデイカの匹数  
σは標準偏差：ソデイカの大きさにばらつきがあるほど数値が大きい

図3は平成16年漁期以降のソデイカ年間漁獲量の推移を示している。今漁期の漁獲量は1,717トンで過去5カ年の間ではH17年漁期に次いで低い漁獲量となった。図4は重量から作成した頻度分布である。6月に糸満漁協で水揚げされたソデイカの平均重量は8.73kgで、5月より2.64kg小さく、昨年6月より1.3kg小さかった。6月に漁獲されたソデイカは0歳ものと思われる5kgサイズが多く、1歳ものが主体だった先月に比べて大幅に小さくなった。一方、昨年6月の0歳ものと比較するとやや大きいサイズが多く漁獲されている。図5は月別漁獲量を示した。今漁期の水揚げ量は、3月を除いて、5カ年平均に比べて低く、特に、漁期前半の漁獲量が低く推移した。

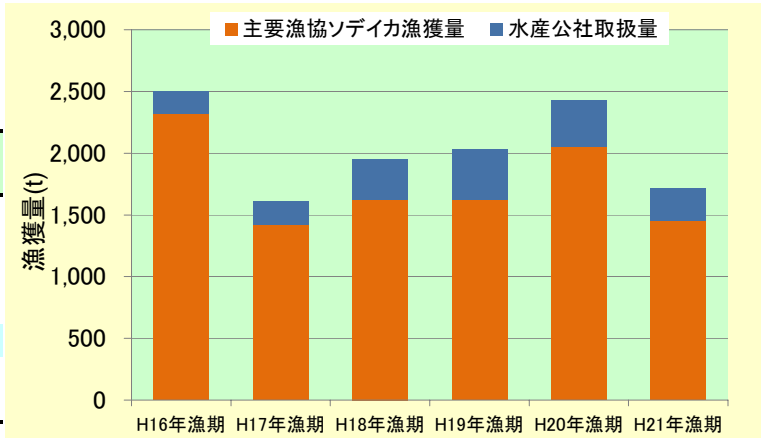


図3 ソデイカ年間漁獲量の推移

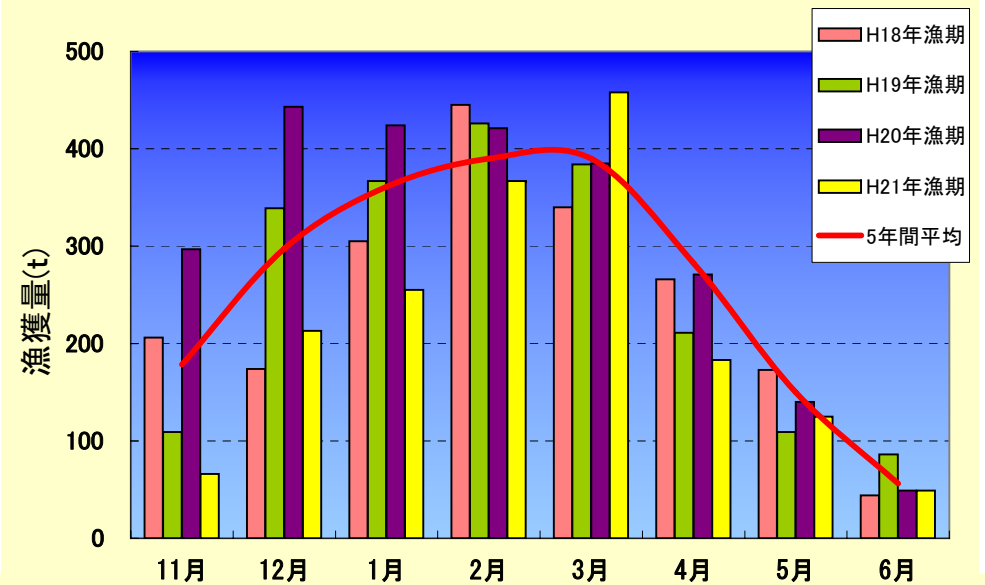
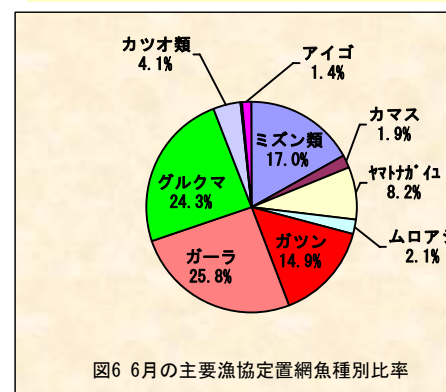


図5 ソデイカ月別漁獲量の推移

表3 6月の設置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置				小型定置				合計	県内定置総漁獲量
	読谷	知念	石川	金武	名護	勝連	与那城	金武		
ミズン類	231.3	510.0	0.0	30.0	967.8	30.0	168.0	2.5	1,939.6	1,941.6
カマス	155.8	18.5	0.0	0.0	4.9	14.3	15.0	2.7	211.2	225.8
ヤマトガイ	559.9	105.1	124.0	5.0	14.7	72.1	56.0	3.9	940.7	940.7
ムロアジ	0.6	0.0	1.0	223.0	0.0	0.0	0.0	12.6	237.2	237.2
ガツン	254.0	646.7	42.5	85.5	61.5	219.1	363.7	25.9	1,698.9	1,719.0
ガーラ	760.5	1,033.2	227.9	368.5	49.6	162.3	230.9	110.2	2,943.1	3,055.8
グルクマ	1,490.9	115.8	8.7	582.5	0.0	171.0	194.1	216.0	2,779.0	2,789.2
カツオ類	198.9	0.0	9.9	0.0	0.0	252.0	2.4	0.0	463.2	475.2
タチウオ	0.0	24.2	0.0	2.0	2.6	4.8	3.9	1.0	38.5	38.5
アイゴ	11.5	27.3	0.0	0.0	113.7	4.2	7.2	0.0	163.9	447.8
合計	3,663.4	2,480.8	414.0	1,296.5	1,214.8	929.8	1,041.2	374.8	11,415.3	11,870.8

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。



定置網：6月の県内の漁獲状況は、11,870.8kgで先月(8,107.4kg)と比べ増加した。主要漁協の漁獲ではガーラが25.8%、グルクマが24.3%、ミズン類が17.0%、を占めた(表3、図6)。